

# 貸出用さくまサン取扱いマニュアル

第2版 2024.3.13

## \*もくじ\*

さくまサンについて（キャラクター設定、ふるまい）	1
着ぐるみの取扱い①－貸出手続き、活動内容・SNS	2
着ぐるみの取扱い②－借りる前に必ず知っておく注意事項【厳守】	3
着ぐるみを使う①－運用時の注意事項【厳守】	4
着ぐるみを使う②－中の人々の注意事項【厳守】	5
着ぐるみを使う③－さくまサンセット、きかた、かたづけかた	6
介添えスタッフの仕事	9

## \*さくまサンについて\*

### キャラクター設定



さくまサンは、学習院大学の「広報大使」。目白の杜に住んでいる、天真爛漫で好奇心旺盛なくまさんです。寒さが苦手なため、つつい長く冬眠しているうちに、100年も寝過ぎてしまいました。

目白の杜のキャンパスと、学習院大学のみんなのことが大好き。好物はサケ（魚）と、こたつで食べるアイス。見た目によらず運動も好きで、トレーニングルームもお気に入り。

その他のプロフィールは▼こちら▼

<https://gakushuin-admissions.jp/sakumasan/>



### さくまサンのふるまい

着ぐるみさくまサンは、お話しません（声を出しません）。周囲のファンに伝えたいことがある場合は、介添えスタッフを通じて伝える、スケッチブックを使うなど工夫してください。

動作ははっきりと、かわいらしく心がけてください。着ぐるみには表情の変化がないため、“楽しさ”“かわいらしさ”などを伝えるには、少し大げさな身体表現が必要です。

また立ち止まっているときも、静止していると“読めない感じ”が不気味に取られてしまうので、左右に揺れたり、手や足を動かしたりして、まったく動かない時間をなるべく少なくしてください（周囲のファンが不用意なタイミングで触れる危険や、介添えスタッフの心配をなくすためでもあります）。

その他、本マニュアル内の注意事項をよく読んで、さくまサンとして活躍してください。

着ぐるみさくまサンの様子は▼こちら▼

<https://www.youtube.com/shorts/4d9R1pk2GP8>



## \*着ぐるみの取扱い①\*

### 貸出手続き

希望する団体・部門は、本マニュアル全体をよく読んだうえで、貸出希望日の一ヶ月前までに、所定の願出を学生団体は学生課、学生以外は広報センターに提出してください。

貸出の可否は、学生課および広報センターにて検討し、広報センターより連絡します。なお貸出可能な場合には、受渡しや説明のための日時を調整しますので、必ず連絡に対応してください。

学外への持ち出しは基本的に想定していませんが、イベントの性質によっては調整に応じますので、まずは学生課（学生以外は広報センター）に相談してください。

### 活動内容・SNS

さくまサンは学習院大学の「広報大使」です。使用するイベントやさくまサン活動内容が、学習院大学の広報大使としてふさわしくないと判断される場合には、貸出を許可しないか、内容の一部変更を求めることがあります。

SNS へのさくまサン活動中の写真・動画の投稿、イベント告知などは歓迎です。たくさんの方に盛り上げてもらえるよう、ぜひ活用してください。ただし、着ぐるみのパーツや着脱の様子、さくまサンの中の人であると推察できる発言など、キャラクター性を損なう内容は決して投稿しないでください。

#### ！願出の提出前に考えましょう！

さくまサン登場スポットは…

更衣場所から容易に移動できますか？

天気の急変に対応できる場所ですか？

たくさんの人が集まっても安全な広さですか？

もしも中の人気分が悪くなったとき、すぐに退場できる場所ですか？

さくまサンの置き場所は…

十分なスペースが取れますか？（最低でも 120cm 四方のスペースが必要です）

汚れや破損のおそれがない場所ですか？

搬入・搬出が安全にできますか？

（着ぐるみは大きく、パーツも複数あるため、一人で運ぶことはできません）

## \*着ぐるみの取扱い②\*

### 借りる前に必ず知っておく注意事項【厳守】

- ★ 中の人<sup>①</sup>の身長は 150cm～170cm が目安です。中の人<sup>①</sup>の安全およびキャラクター性の維持のため、この範囲を大きく外れる人が着用することは避けてください。
- ★ 第三者の目に触れない更衣場所を用意し、脱ぎ着するところを見られないことがないよう、注意して計画を立ててください。
- ★ 中の人<sup>①</sup>の他に、必ず 1 名以上（記念撮影などファンと直接交流する場合は可能なかぎり 2 名を確保）の介添えスタッフを用意し、事前の打合せを実施してください。中の人<sup>①</sup>だけでなく、周囲のファンの安全のためにも、さくまサン<sup>②</sup>だけで活動することは禁止です。
- ★ 屋内の床が平らな場所、屋外では舗装された平らな場所のみ使用可です。安全および汚損防止のため、起伏の激しい場所や、舗装されていない場所では使用できません。  
また安全のため、階段は決して利用せず、スロープやエレベーターを活用してください。
- ★ 雨天時の雨にあたる場所・足元が濡れる場所の使用は移動ルートも含め禁止です。屋外使用を予定するときは、雨天時の代替場所を事前に検討するか、初めから屋根のある場所で済む計画としてください。雨天以外でも、強風時には屋外使用できないため、同様に代替場所を検討してください。
- ★ 6月～9月の屋外使用は、熱中症等の人命にかかわる危険を防ぐため禁止です。これらの時期に使用する場合、更衣から登場まで、必ず空調の効いた屋内で行うようにしてください。  
それ以外の時期でも、想定以上に気温が高い・陽射しが強い日となったときは、登場スポットを屋内に変更するなど安全を優先して臨機応変に対応してください。
- ★ 着ぐるみは特殊な素材・製法でできています。飲食物・水気・火気は厳禁です。登場スポットの周囲はもちろん、貸出中を通じて、近くに飲食物・水気・火気がないように注意してください。
- ★ 貸出および返却は、平日 9：00～16：00／土曜日 9：00～12：00（休業日を除く）です。  
この時間内に貸出から返却までを終えられない場合には、借用団体において日をまたぐ保管場所を確保してください。貸出中の保管や運搬に費用がかかる場合は、借用団体が負担してください。  
特に返却日時は厳守し、やむを得ず遅れてしまうときは、前もって広報センターへ連絡してください。連絡なく返却が遅延した場合、以降の貸出を認めないことがあります。
- ★ 通常使用の範囲を超える汚損があった場合、借用団体にクリーニング費用[例：約 3～4 万円+往復送料]や修理費用[見積により変動]の弁済を求めることがあります。注意して取り扱うようお願いします。
- ★ 着ぐるみの使用によって生じた事故・損害等について、学習院大学に故意又は重過失がある場合を除き、借用団体が一切の責任を負うものとします。安全に万全の注意を払い実施してください。
- ★ 第三者への着ぐるみの転貸は禁止です。

## \*着ぐるみを使う①\*

### 運用時の注意事項【厳守】

#### ！介添えスタッフについて！

- ★ 着ぐるみさくまサンは視界が狭いうえ、頭部が大きくぶつかりやすい、足元が見えにくく段差に弱い、といった動作上の弱点があります。イベントを成功させ、ファンの皆さんにも中の人にも安全な実施のためには、適切な介添えが不可欠です。
- ★ 必ず1名以上（記念撮影などファンと直接交流する場合は可能なかぎり2名を確保）の介添えスタッフが同行し、誘導や安全管理をしてください。介添えスタッフと中の人には、事前のしっかりした打合せと、当日の阿吽の呼吸が必要です。  
詳しくは⇒介添えスタッフの仕事（p.9）

#### ！中の人安全管理！

- ★ 当日は、着用前に中の人に体調のヒアリングを行い、少しでも不安があるときは中止してください。
- ★ 活動時間は「20分活動したら1時間以上休憩（あるいは中の人を交代）」が基本です。着ぐるみを着用しての行動は体力的な負担がありますので、更衣時間や登場スポットへの移動時間も考慮すると、さくまサンとしてステージパフォーマンスやファンと交流をするための時間は、1回に20分が目安と考えてスケジュールを立ててください。
- ★ 着用中に中の人が体調不良等になった場合にそなえ、介添えスタッフへ意思表示を行うためのサインを事前に決め、共有してください（両手を前にしておじぎで静止、その場で2回転する、など）。
- ★ チラシやウェブページ等で事前告知を行う際は、記念撮影に応じられるのは決められたイベント時間内に限ること、さくまサンを移動中に呼び止めての撮影はできないことをなるべく記載してください。特に休憩への移動中に足止めされることは、中の人にとって大きな負担となります。

## \*着ぐるみを使う②\*

### 中の人注意事項【厳守】

- ★ 事前に介添えスタッフと十分な打合せをしてください。
- ★ さくまサンのキャラクター設定、さくまサンのふるまい (p.1) を事前に確認するとともに、学習院大学の広報大使としてふさわしい行動を心がけてください。着用して更衣場所を出たら、移動中もさくまサンとして人目に触れますので、キャラクターを守って行動してください。  
着ぐるみさくまサンはお話しませんので、声は出さないよう注意してください。
- ★ 動きやすい服装で着用してください。毛皮が暖かいため、Tシャツとトレーニングタイツなどの薄手の服装を勧めますが、袖およびボトムは七分丈以上 (半袖・ハーフパンツ不可)、ソックス必須です。髪の高い人は、安全のため必ず後ろで束ねてください。
- ★ 着ぐるみを着用すると、視界が大変狭くなり (視界は目(スモークパネル)と口(パンチングボード)のみ)、自分の周りがあるモノやヒトに気づきにくくなります。  
特に小さい子ども、段差や低い位置の障害物、横や背後から近づくものなどはあまり見えませんので、介添えスタッフと連携して、落ち着いて行動してください。小さい子どもがそばにいるときは、ケガをさせないように、急に大きな動作はしないようにしてください。
- ★ 着ぐるみは重量があり、また中は暑くなります。こまめに水分を摂り、少しでも体調に不安を感じたときは着用を中止してください。  
着用中の体調不良時のサイン (両手を前にしておじぎで静止、その場で2回転する、など) を事前に決め、介添えスタッフと共有しておくとともに、着用した状態で無理なくサインを出せるか、本番前に練習してください。

# \*着ぐるみを使う③\*

## さくまサンセット

### 【さくまサンセットが揃っていることを確認してください】

さくまサンは白とピンクというカラーの都合からも汚れが目立ちやすくなっています。着替え用シートあるいは汚れのないテーブルの上などで取り扱い、直接、床や地面に置かないようお願いします。

### チェックボックス

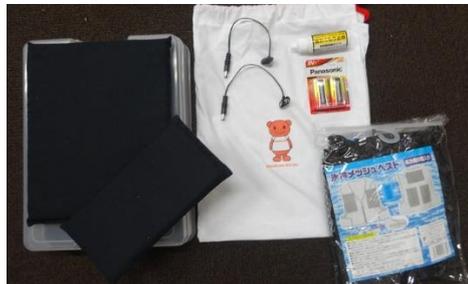
借用時 返却時

- ①頭、専用袋
- ②ブーツ 1組、専用袋
- ③ボディ、専用袋
- ④形状維持リング、マント、グローブ 1組



<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- ⑤アイテムバッグ
  - ・接続ケーブル 2本、電池
  - ・頭パッド 2種
  - ・クールベスト、保冷剤 5個
  - ・視界曇り止め液



<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
( )	( )
( )	( )
( )	( )
( )	( )

- ⑥着替え用シート
- ⑦お手入れセット (ウェットシート、お手入れブラシ)

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

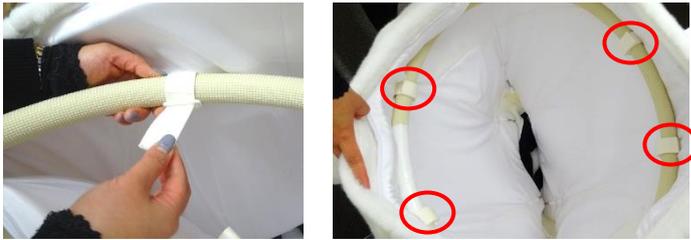
## さくまサンのきかた

### 【一人では難しいので、補助してもらいながら着てください】

0. 汚れを防ぐため、着替え用シートのおもて・うらを確認しておもてを上敷き、その上で作業する。
1. 適切な服装 (p.5) であること、体調が万全であることを確認し、お手洗いにしておく。

<気温が高い時期>着ぐるみと一緒にクールベストと保冷剤を貸し出していますので、事前に保冷剤を冷やしておき、着用することを勧めます。保冷剤を凍らせると凍傷のおそれがあるため、冷やす程度に留めてください。

2. ボディ内部のバンドに形状維持リングをつける。



3. ブーツの左右を確認してはく（土足厳禁、ソックス必須）。しっかり底まで足を入れる。



4. ボディを着る（半袖・ハーフパンツ不可）。ズレないように袖口のサムホールに親指を通す。

5. 背中の中のホック3箇所でもントを固定する。



6. 電池をケーブルに接続して頭の内部にセット（p.11）し、スイッチを入れて換気ファンが回ることを確認する。

7. 頭をかぶり、内部のマジックテープをあごの下で止める。襟周りがヨレないように整える。

<サイズが合わないとき>アイテムバッグに入っている頭パッドで多少の調整ができます。

8. グローブをはめる（中は親指、人差し指、その他の3つに分かれています）。毛皮の境目が手首に出ないように、また活動中に抜けることがないように深く着用する。



9. たるみやしわ、頭がまっすぐかなど、全体を整える。

## さくまサンのかたづけかた

### 【一人では難しいので、補助してもらいながら脱いでください】

0. 汚れを防ぐため、着替え用シートのおもて・うらを確認しておもてを上を敷き、その上で作業する。

1. 「さくまサンのきかた」の逆の順に脱ぐ。

2. 換気ファンのスイッチを切り、電池とケーブルを外す。  
ボディから形状維持リングを外す。

3. ウェットシートでブーツの足のうらを拭き、その他のパーツも汚れや破損がないかチェックする。

＜汚れがあったとき＞ホコリや砂など乾いた汚れは、お手入れブラシで優しくブラッシングして落とします。万一、液体汚れや色移りがあったときは、ウェットシートか水で濡らして絞った布で軽くつまむように落とします（こすると汚れが広がってしまいます。デリケートな素材のため傷めないよう注意してください）。

4. 着用で溜まった湿気を飛ばしてから、頭、ブーツ、ボディをそれぞれ専用袋（内側に入れるパーツが記載されています）に収納する。

5. 着替え用シートをおもて側を内側にしてたたむ。

6. さくまサンセット（p.6）が揃っていることをチェックボックスで確認し、返却する。

＜返却時のお願い＞適切なメンテナンスのために、汚れや破損の有無およびその箇所を報告してください。後日、広報センターでアフターメンテナンスを行いますが、その際に未報告の汚れや破損が見つかったときは、借用団体にお問合せする場合があります。

## \*介添えスタッフの仕事\*

着ぐるみさくまサンは視界が狭いうえ、頭部が大きくぶつかりやすい、足元が見えにくく段差に弱い、といった動作上の弱点があります。イベントを成功させ、ファンの皆さんにも中の人にも安全な実施のためには、適切な介添えが不可欠です。

さくまサン登場スポットでの進行は、実質的に介添えスタッフがメインとなることが多いため、さくまサン活動内容やスケジュールをしっかりと把握し、無理のない実施ができるようにしてください。

### 主な仕事内容

★ 事前に中の人と十分な打合せをしてください。

- ・ イベント内容、さくまサン活動内容、スケジュール
- ・ 更衣場所から登場スポットへのルート確認（エレベーターや段差など）
- ・ 着用中の体調不良時のサイン（両手を前にしておじぎで静止、その場で2回転する、など）

★ 声掛けは「さくまサン」で統一し、中の人の名前を呼ぶことがないように注意してください。

★ 移動時は、さくまサンの進行方向と後方に1名ずつ立ち、誘導してください。「段差があるので一旦止まって」「そのまま前進」「右後ろから人来てます。左に寄ってください」など、周囲の様子を確認し、さくまサンに伝えながら移動してください。介添えスタッフが1名の場合は、進行方向に立って先に誘導してください。

★ 頭部の横幅が特に大きいため、エレベーターや狭い通路では、ぶつからないよう横幅に注意して「90度横向きになって、半歩下がって、そのまま横歩き」などと指示し、鼻と後頭部を介添えスタッフの手で保護しながら通ってください。

★ 着ぐるみさくまサンは、お話しません（声を出しません）。

代わりに、介添えスタッフが「さくまサン、今日は〇〇のみんなに会いに来たんだって」「さくまサン痛いって言ってるよ、叩かないでね」など、声を張って伝えることになります。必要に応じて、ステージパフォーマンスではマイク、交流イベントではメガホンなど、適宜用意してください。

★ グリーティングや記念撮影のようにファンと直接交流する場面では、「小さいお嬢さん左右に一人ずつです」「みんな左の方見ようか、お父さんのカメラ左だよ」「ちょっと待ってね～さくまサンも笑って！はいポーズ！」「ありがとう～またね！次の方どうぞ」など、さくまサンに状況が伝わるよう口に出しながら、ファンの行動をコントロールしてください。

たくさんの方が集まってきた際は、周りを囲まれるとコントロールが非常に困難になるため、一方向に並ばせるよう気をつけてください。

★ スケジュールに則ってさくまサンの活動時間を管理し、中の人に無理をさせないように注意してください。ファンと直接交流する場合、待機列が長くなると、適切な時間に引き上げられなくなるおそれがあるため、先に傾合いをみて「待機列ここまでです！〇〇時の回はここでべ切です」などと列が伸

びるのを止めてください。

また移動中は、ファンから声が掛かっても、「これからみんなのところに行くからね～急いでいるから見に来てね!」「ただいま移動中ですので記念撮影はできかねます。次回〇〇時のイベントにお越しください」など、足止めされないよう適宜お断りしてください。

- ★ 着ぐるみは特殊な素材・製法でできています。飲食物・水気・火気は厳禁です。さくまサンをこれらに近づけないことと同時に、周囲のファンが飲食物・水気・火気を持っていないか注意し、同行者に預けてから近づくようお願いするなどしてください。
- ★ 見えない後ろからいたずらされたり、子どもにタックルされたりすると大変危険です。絶対に目を離さず、背後にも気を配るとともに、迷惑行為にははっきりと注意してください（イベント時、テンションが上がっている小さい子どもなどでは、優しい声掛けが逆に行為をエスカレートさせることがあります）。
- ★ 中の人々の体調不良が発生したときや、屋外での急な降雨や強風時などにすぐ退避できるよう、周囲の様子に気を配り、ルートを常に確保してください。退避が必要となった際は、落ち着いて誘導してください。

以 上

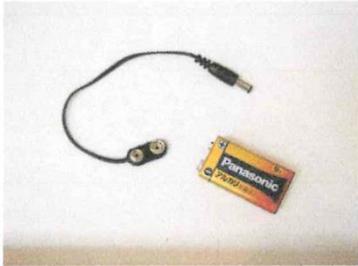
学習院大学 学長室広報センター

目白キャンパス 西5号館6階

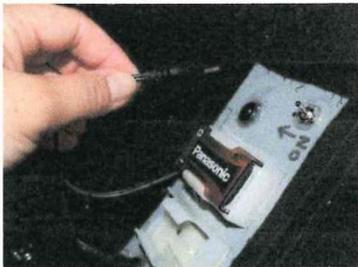
MAIL : koho-off@gakushuin.ac.jp

TEL : 内線 2511・2512

## 電池のつけかた



電池と配線の接続部分を接続します  
しっかりかんでいることを確認してください



スナップ部分を上にして  
電池ボックス内に電池を入れます



プラグを穴に差し込み、スイッチを on にします